

停電事故防止に向けた「2023年 鳥の巣写真投稿キャンペーン」の実施

2023年2月20日
北陸電力送配電株式会社

当社は、昨年に引き続き、電柱等に作られた鳥の巣（以下、「営巣」）が原因となる停電事故の未然防止を図るため、「2023年 鳥の巣写真投稿キャンペーン」を実施いたします。多くの皆さまからのご投稿をお待ちしております。

昨年実施した「鳥の巣写真投稿キャンペーン」では、約1,200件もの営巣情報提供をいただき、停電事故の未然防止に活用いたしました。ご協力ありがとうございました。

昨年に引き続き、停電事故の未然防止を図るため、以下のとおり「2023年 鳥の巣写真投稿キャンペーン」を実施いたします。

より多くの方にご参加いただけるよう、昨年に比べ期間を延長するとともに、謝礼内容を追加いたしました。皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

当社は、引き続き、停電事故の未然防止を図り、電力の安定供給に努めるとともに、新たなキャンペーン・サービスの提供等を通じて、地域の皆さまの更なる利便性向上を目指してまいります。

■キャンペーン

概要：停電事故防止につながる営巣情報をご提供いただいた方へ謝礼を進呈

期間：2023年3月1日～2023年5月31日^{※1}

謝礼：・当社設備がある電柱等^{※2}に作られた営巣の第一写真提供者を対象に、300円分／件のAmazonギフトカードを5,000件分進呈
・投稿件数（謝礼対象）の上位者（毎月1位～5位）^{※3}には、特別謝礼として1千円～1万円分のAmazonギフトカードを進呈

参加方法：【事前登録】当社メールフォームより、必要事項を登録し、送信

【写真投稿】当社チャット受付より、必要事項を登録し、営巣写真を投稿
詳細は当社HPをご確認ください

https://www.rikuden.co.jp/nw_hokurikuqa/haiden_eiso_cnp.html

※1 実施期間外でも、営巣に関する情報は当社HPより、随時受け付けております

※2 北陸エリア（富山県・石川県・福井県（一部を除く）・岐阜県の一部）が対象

※3 謝礼対象件数が2件以上の上位者が対象

<本件に関するお問い合わせについて>

- ・本キャンペーンは北陸電力送配電(株)による提供です。
本キャンペーンについてのお問い合わせはAmazonではお受けしていません。
北陸電力送配電(株)HPのメールフォームよりお願いいたします。
- ・Amazon、Amazon.co.jpおよびそれらのロゴはAmazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。

以上

別紙:2023年 鳥の巣写真投稿キャンペーンの概要

2023年 鳥の巣写真投稿キャンペーンの概要

2023年 2月20日

©2023|Hokuriku Electric Power Transmission & Distribution Company, All Rights Reserved. | CONFIDENTIAL

未来へ、めぐらせる。
北陸電力送配電

キャンペーンへの参加方法および謝礼

1

■キャンペーンへの参加は、当社ホームページから以下の2 Stepを実施ください

Step1 事前登録（メールフォーム）

<右記のQRコードよりアクセス>

・メールアドレス・電話番号・氏名・ニックネームを入力し、送信ください



Step2 写真投稿（チャット受付）

<当社HPのキャンペーン特設バナー・下記QRからアクセス>



チャット

鳥の巣写真投稿キャンペーンはこちら
・キャンペーン対象期間 3月1日から5月31日
※参加には事前登録が必要です



営業の第一写真提供者に謝礼を進呈

・氏名・電話番号・電柱番号を入力し、営巣写真を投稿ください

◆投稿いただきたい営巣写真例



◆ご入力いただきたい電柱番号例

5052 ㊦
ネ35・51

※「数字4桁+カタカナ1文字+数字4桁」の札が無い電柱は対象外です
(電柱高さ3m付近に、番号札が設置されています)

事前登録 + 写真投稿 でAmazon電子ギフトを

上限数 5,000件まで
謝礼 300円分進呈
進呈条件あり

さらに謝礼対象の
投稿数上位 1~5位に
特別謝礼進呈
最高「1万円」

◆ 営巣に対する当社の取組み状況

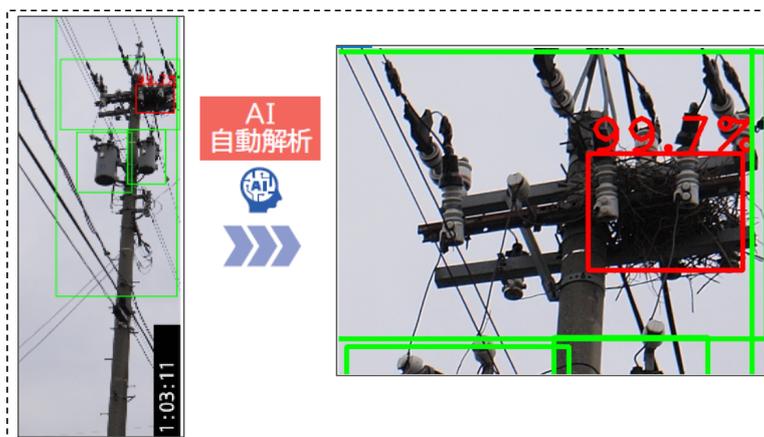
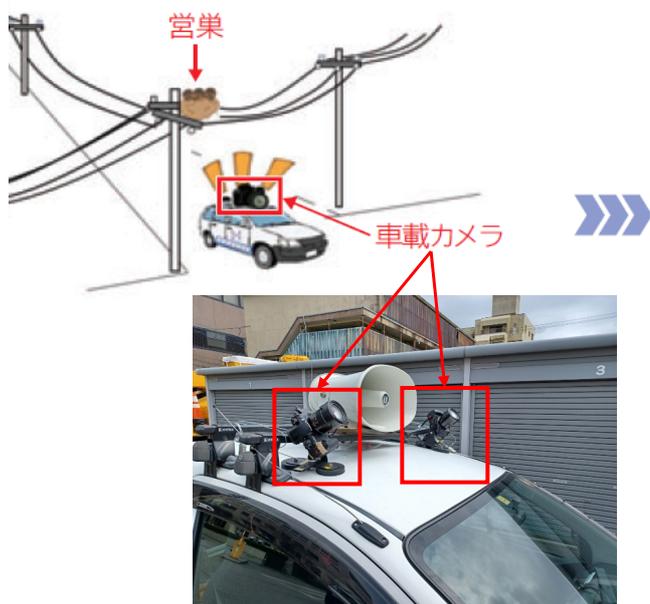
項目	例年の概算数
営巣巡視人員	延べ6,000人日/年
営巣巡視基数	延べ180~190万基/年
地域の皆さまからの営巣関連の情報提供件数	5,000件/年
営巣撤去数	15,000~16,000件/年
停電発生件数	10~20件/年

(参考) 営巣による停電防止に向けた当社の取組み

◆ 車載カメラ映像とAIを活用した営巣巡視（2022年導入）

車載カメラで撮影した映像から、配電設備に作られた営巣を自動検知する「営巣検知AI」を2021年に試行導入し、一定の成果を得たことから、2022年の営巣シーズンから一部導入し、業務効率化を図っています。

< 営巣検知AIの活用イメージ >



※ 営巣検知AIで自動解析した際のPC画面の様子

以上